

対談 リレー

服装学院に併設した大学
専門大学出身者を呼べる力

海軍兵学校から人事院そして文化学園理事長へ
GHQの置き土産、70年の歴史の書き直し
世界が認めるファッショニの学府
織と染の技術が明治政府の原動力
徒弟制度ではない学校での教育

大沼 淳氏
文化学園大学学長

1928年長野県生まれ。海軍兵学校修了、人事院勤務の後、1957年文化学園常任理事、1960年同理事長就任。1969年より文化女子大学（現・文化学園大学）学長。

文部省大学設置審議会委員、同私立大学審議会委員、臨時教育審議会委員、全国専修学校各種学校総連合会会长などを歴任。2000年より日本私立大学协会会长（5期目）、他に一般財団法人日本ファッショニ教育振興協会理事長、ファッショニビジネス学会会長。

藍綬褒章（1984年）、功績勲章勲二等（2002年、ルーマニア政府）、勲二等瑞寶章（2003年）、飯山市名誉市民章（2004年）、渋谷区名誉区民章（2009年）受章。

教育界での地位向上のために ファッションで世界中から一流の



麻生 太郎 氏

副総理・財務大臣・金融担当大臣

1940年福岡県生まれ。1963年学習院大学政経学部卒業。麻生セメント株式会社代表取締役社長、社団法人日本青年会議所会頭を経て、1979年衆議院議員に当選。

以降、当選12回。1996年、国務大臣経済企画庁長官、2001年、国務大臣経済財政政策担当、自由民主党政務調査会長、2003年、総務大臣、2005年、外務大臣、2007年、自由民主党幹事長をそれぞれ歴任し、2008年、第92代内閣総理大臣に就任。2012年より副総理・財務大臣・金融担当大臣（現職）。

趣味は読書とゴルフ。クレー射撃では1976年、モントリオール五輪に日本代表として出場。

女性が活躍する学校の地位の向上に
留学生を受け入れる経営手腕
授業は日本語、そして世界へ羽ばたいて
私学の役割を理解すれば
国費の有効な使い道が見えて来る
政権が安定すれば国家が安定する
だから政策に継続性があって
経済もうまくいく……



大沼 淳氏

て、その時々を生き抜いて来ただけで、結果がよかつたから運がよかつたのかなと思っています。ですから、戦時は軍人になり、戦後、公務員になって、60年前に並木学園と言っていた私学に天職を見つけただけだと思っています。

麻生 軍隊に行つて、役人になつて、それから教育に携わるようになつたんですね。

大沼ええ、昭和19（1944）年に、広島県の江田島にあつた海軍兵学校の76期生として入校し、2年生の時、終戦になつて学校は閉校になりました。それから3年

後、昭和24（1949）年、第1回国家公

務員試験に合格して、その時GHQの指

令

程前、80周年記念時に建設されたんです

ね。これまでに40万人から45万人の卒業生

がいて、コシノジュンコさんを始め、優秀な

人材を輩出しております。アジアを中心

に、世界各国からの留学生も受け入れてい

ます。

日本のファンションを牽引してきた学校で、

素晴らしい

現在は文化学園大学、文化ファンション大

学院大学、文化服装学院と、さまざまな

形で教育を拡大し続けておられます。今

日は宣しくお願ひします。

大沼 こちらこそ宣しくお願ひします。

麻生 文化学園のルーツとなる洋裁学校

のスタートから約100年、このビルは20年

はありませんでした。その時、茨城県の水

戸近郊に、農林省の一団体が新農村を築く指導者養成のため「高等農事講習所」

という3年制の学校を創立したことを知りました。そこは授業料なし、全寮制で食費も寮費も総て無料でしたので、同じような境遇の人がどうと押し寄せました。これも幸運なことに合格し、そこでゆっくり農業を中心に高等教育を受けました。ここでの教育は素晴らしく、小出満二学園長（前東京農林専門校校長）に多くのものを学び、その後の人生の糧になりました。

麻生 そうですか。

大沼 人事院に入った昭和24年は、新憲法に基づいて衆参両議院の選挙が行なわれて、その後日本を支え文教行政を構築した議員の先生方が多く登場しました。田中角栄さん、川島正次郎さん、坂田道太さん、赤城宗徳さん、西岡武夫さん、竹尾式さんなど、限りがありませんが、ここから日本が本格的な活動ができるようになつたと思います。それから昭和24年には、60万の教職員を抱えた日本教職員組合が、岡三郎さんを委員長として大勢力となり、21才の若造でしたが私が団体交渉責任となつて担当官にもなり、新学制に基づく戦後教育職員の新体制を作り上げました。

麻生 私は西岡武夫さんが文部大臣の時

に文部政務次官でした。

大沼 その時期は麻生大臣のご祖父様の

戦後、復興期は

役人として文部省を担当

麻生 文化学園の理事長、大沼淳さん

を指名させて頂きました。文化学園は、

日本のファンションを牽引してきた学校で、

と思うポイントは2つあります。現在と違つて若い人が増えていた時代に大学にしたど

ういう事。今の時代に合っているのは、海外か

らの留学生を受け入れている事。これが経

営的に見ても「時代」というものを見ても、

大沼さんの凄いところだと思いますね。

大沼 いいえ、私はただ、自分の運命に従つ

て、昭和23（1948）年に公務員試験が始まって、翌昭和24年に人事院に入る

まで4年間は学生ですか？

大沼 そうです。昭和21（1946）年に、

できれば東京の学校と思って上京したので

ですが、東京は焼け野原で私が住むところ

はありませんでした。その時、茨城県の水

戸近郊に、農林省の一団体が新農村を築く指導者養成のため「高等農事講習所」

という3年制の学校を創立したことを知

りました。そこは授業料なし、全寮制で食費も寮費も総て無料でしたので、同じような境遇の人がどうと押し寄せました。これも幸運なことに合格し、そこでゆっくり農業を中心に高等教育を受けました。ここでの教

育は素晴らしく、小出満二学園長（前東

京農林専門校校長）に多くのものを学び、その後の人生の糧になりました。

麻生 そうですか。

大沼 人事院に入った昭和24年は、新憲法に基づいて衆参両議院の選挙が行なわれて、その後日本を支え文教行政を構築した議員の先生方が多く登場しました。田中角栄さん、川島正次郎さん、坂田道太さん、赤城宗徳さん、西岡武夫さん、竹尾式さんなど、限りがありませんが、ここから日本が本格的な活動ができるようになつたと思います。それから昭和24年には、60万の教職員を抱えた日本教職員組合が、岡三郎さんを委員長として大勢力となり、21才の若造でしたが私が団体交渉責任となつて担当官にもなり、新学制に基づく戦後教育職員の新体制を作り上げました。

麻生 私は西岡武夫さんが文部大臣の時

に文部政務次官でした。

大沼 その時期は麻生大臣のご祖父様の

麻生 太郎氏×大沼 淳

吉田総理の全盛期でもありましたね。

麻生 吉田茂は、敗戦になって公職追放の

前に帝国憲法で第一次内閣を組閣しています。帝国憲法下、鳩山一郎さんがページになつて大命降下で吉田茂が組閣にあたりました。その後、憲法が改正されそれに基づいた選挙で当選しないと、内閣総理大臣になれないというルールに変わつたんです。

それまでは勅命で陸軍大将も総理大臣になつていましたからね。大命降下が終わって第1回の昭和22（1947）年の総選挙で負けるんです。その後片山内閣、芦田内閣と続きましたが、昭和電工事件で倒れ、



麻生太郎氏

昭和23年に第二次吉田内閣が発足しました。

大沼 私が役人になった時、吉田さんが

総理だったのでその印象がすごく強いんです。ステッキをういて絶対的なところがあります。世俗離れした風で、一種の神様みたいな存在でした。それから、弟子の池田勇人ですかね。

麻生 そうかもしれませんねえ。昭和24年の総選挙まで、第二次吉田内閣は少数

与党内閣でしたが、佐藤氏や池田氏らを育てました。いわゆる吉田学校ですよね。うちは右翼や左翼からピストルで撃ち込まれたりするんじやないかという大変な時代でした。

大沼 私は昭和3（1928）年生まれなので、昭和24年は21歳になった年です。

麻生 私はひとまわり下の辰年です。岸信介さんは昭和35（1960）年、安保改定の時によく来ておられました。カムフラージュに孫の私を連れて行って、吉田と岸はこうそり会つてましたよ。やたら岸さんの背中を吉田が押していたのがすごく印象に残っています。随分面白い時代でしたね。

松野頼三氏が大磯に来て「こんな軍事力

を放棄したようなことで誰が日本を守るんだ」っておっしゃった時、「番犬と思え。工サ代向こう持ち」と吉田が返しその一言で引き下がつたんです。まあ何とか70年持ちましたが、やっぱりこれは是正しないといけない時期に来ているんだと思いますね。

農地解放が

戦後日本を決定づけた

大沼 昭和24年当時は、まだインフレ

ーションが進行していました。しかし次第に落ちて、戦後教育制に基づいて新教員給与制度を進めることになり、担当官として日教組に加え、新しくできた国大協、高

校校長会、中学校校長会、小学校校長会などとの団体の責任者と意見を交わすようになって、私も文教関係の専門家のような立場になつたため、広い人脉を得ることができました。それが私学に広がり、私学とも関係を持つようになり今日に至るので

す。 麻生 当時は坂田道太氏ですか？ 大沼 いいえ、坂田先生は昭和24年頃に議員ですから、大臣は天野貞祐さんで次官は剣木亨弘さんです。

麻生 劍木さん、懐かしいなあ、名前を知っている人なんて、もういませんよね。

大沼 私にとって忘れられない方々は、大蔵省文部担当主計官の鳩山さんと相澤さんです。

麻生 相澤英之氏ですか。

大沼 はい、外務大臣になられた鳩山威一郎さんと、永く国会議員と活躍された相澤英之さんです。新しい給与制度を作る予算がります。そんな関係でよく相談に行き、またご指導も頂きました。

麻生 相澤氏は毎週木曜日に私の派閥の例会にも出席していますが、ことしで98歳、元気ですよ。

大沼 あの頃は、今では考えられませんが重要な仕事に携わっていましたね。膨大な仕事を、年齢を超えてそれを一人で背負っていました。

リレー対談



麻生 あの頃は国の体制をそつくり創り変える話ですからね。

大沼 体制の作り替えと言えば、人事院もその一つです。GHQが日本の官僚制度を改革するため、国家公務員法を改正し、

実施部隊として人事院を作ったのでした。その第一回の国家公務員試験に合格して、人事院の一期生になれたのです。その時、入省に当たって、私達にGHQのフーバー公務員部長が講演されました。今でも耳に残っている言葉は、「日本の民主主義を進め

るは学閥、5つは官僚閥である。1つ目から4つ目までは改革した。最後は、一番厄介な官僚閥の改革だけになっている。」

大沼 「これを海に捨てたい衝動に駆られるが、これを捨てると日本の機能が止まるので、諸君をここに集めてアメリカ行政学、人事行政について研修することにした。」と。それから3カ月間、日光の田母沢の御用邸に缶詰めになって、英文の本を翻訳してガリ版を刷って、御用邸の庭や東大の植物園を使って、200名の研修が行なわれましたが、若かったこともあって、今は楽しい

思い出となっています。

麻生 ほお。田母沢の御用邸ですか。今

の天皇陛下が皇太子殿下の時に疎開しておられましたね。

大沼 大正天皇の御用邸でしたが、進駐軍がその時だけ押さえて3ヶ月の研修を行なったのです。GHQの下で日本の官僚改革をするという強い意志があつたにも関わらず、私達が霞が関に来て努力しましたが、改革など何もできない程強固なものでした。

大沼 官僚制度における基本的な考え方の違いでした。

麻生 財閥解体に最後まで反対したのは岩崎系と言われていますが、解体は意外に早かったです。また、農地解放ができたかできないかで、共産党の勢いが衰えたかどうか変わるわけですが、フィリピンが難しいのは、それがいまだにできないからかもしれませんね。

大沼 学閥は大したことないのです。日本

の戦後を決定つけたのは、やはり農地改革でしょう。明治に廢藩置県も戦後最大の土地改革も無血できました。それで何が生まれたかと言うと日教組です。小学校や中学校の先生は、大体地方の地主の子供ですから、それが土地を全部取り上げられ

なるほど、それで日教組に流れています。

大沼 ですから日教組は本当の左派ではなく、心情的左派だと思います。

麻生 その典型が興石東氏ですが、最初に日の丸と君が代を正式に認めた教組が山梨県教組だったはずですよ。

大沼 あの時は、後に社会党を牛耳る人達が若い執行部員としていたわけです。辻原弘一さん、楳枝元文さん、などなどです。世界中が認める

ファッショニの学府に

麻生 大沼さんが役人として尽力された

戦後の話は興味が尽きませんが、まもなく創立100周年ですね。学校経営でこれだけ成功したのは、大沼さんの経営手腕によるところが大きいと思います。振り返って見て、いかがですか？

大沼 役人時代に戦後の国公立大学の教職員給与体系を作った関係で、その後、早稲田や青山学院など、多くの私学関係者が私を頼って相談に来いました。その中の1つが、並木学園で縁もゆかりもない学校でした。来て驚いたのは、女性が中心になって活躍していたことです。戦前は女性で大学に入っている人は誰もいませんでした。大学が入学させなかつたので、裁縫女学校は女性の高等教育機関の一つとして存在して

麻生 太郎氏×大沼 淳氏

いたのです。教育界では揶揄の対象というか、あまり高い評価ではありませんでした。そこで何とかしなければ、と思つたところ、たまたまそこに招聘されたので、2つのことを始めました。1つはこうした各種学校の地位をどうやって上げていくか、もう1つは、女性の活躍の場として、学校の地位を社会に認めさせるにはどうしたらいいか。それにはこの学校に、どうしても大学を併設しなければと考えました。そうすると、信用も文化服装学院の地位も上がります。このうを念頭にやつてきました。

（現、文化学園大学）を設置しました。それからすぐ大学院（修士課程及び博士課程）に被服学専攻を置いて、さらに、ファッション分野では日本初の専門職大学院であ



る「文化ファッション大学院大学」を置いて、急テンポで進めて行きました。この大学院はファッションの職業大学のようなものなので、世界中の大学を出た人がやって来ます。約8割が外国の大学からです。

大沼 授業は英語ですか？

大沼 総て日本語です。留学生は現在1700人ほど在籍しており、徹底して日本語を覚えてもらいます。日本に来ているですから、日本語に対応できるようになりますから、日本語で勉強して、でもいい、文化服装学院、文化学園大学、そして文化ファッション大学院大学へ入ります。

す。

近代日本は 繊維産業が支えた

田賢三さん他多くの有名デザイナーが世界で出ていますから、日本語であってもデザインを学びたいということなんでしょう。大沼 最も大事にしたいのは、外国からどれくらい立派な人を日本の学校に呼べる力があるか、それを競わないといけません。

日本人がハーバードへ入つて優秀だったが、最近は中国人や韓国人に負けている。これが大変だと言つて始めていますが、何を言つてゐるんですか、東大がやらなければならぬのは、世界中から優秀な人を東大に来させることでしよう。ファッションに関しては、世界中から学校に呼べる力を持つてゐるよ

うにしました。そのために服飾博物館や、リソースセンター、ファッションに関しては日本一の図書館を作り、今世界中が認められるようになって、世界のトップクラスの学校になっています。世界中から一流の専門大学を出た人がここに入つて来ます。例えば、フィンランドから英国のファッション大学センターマーチンズの服装デザイン科を卒業して、この大学院大学に入つて来て、そして就職はカナダという学生がいます。

麻生 ここで、日本語で勉強して、ですか。大沼 そうです。

リーグには、レストラン学科とかホテル学科などがある大学もありますが、日本の国立大学にはないですね。立教大学には観光学科がありましたが、服装とかファッショングなどはあまりないようです。

大沼 ファッションを学問の中に学術として認めさせようと、昭和25（1950）年創立の文化女子短期大学を体系化し、昭和39（1964）年に四年制の文化女子大学（現、文化学園大学）を設置しました。それからすぐ大学院（修士課程及び博士課程）に被服学専攻を置いて、さらに、ファッション分野では日本初の専門職大学院であ

で、和服を作る技術で洋服が作れるようになることを学校教育として行なつたので、洋服が物凄い勢いで普及するわけです。日本は洋装化に成功した最初の国で、日本人が着たから韓国人も中国人も、そして世界中に広がつて、アフリカまで普及した、その根っこは總て日本です。海外では、学校でやるという習慣がなく、全部アトリエです。デザイナーのカルダンやシャネルもア



出迎えの学生達と共に

トリエで、フランスもイタリアも同様に徒弟的に養成します。このように組織化されたファッション教育の学校というのは、世界にはあまりありません。

麻生 パリが発祥で、日本の仁野覚さん
が代表になったエスマードという会社があり
ますね。彼もエスマードがあれだけにな
た最大の理由は「学校にしたことだ」と言
ていました。

大沼 日本では全部学校教育で、しかも
小学校、中学校の教科書にまで入れるわ
けです。日本は元々、江戸時代でも平安

時代のファッションでも、世界の最先端です
よ。例えば、一条天皇、藤原道長の時代
に紫式部が出てきて、その時代の十二單や
衣冠束帯などは大変なファッションですよ。
それと江戸時代の小袖ですが、元禄に流行
して文化・文政になって完成するんですが、
今見ても「その時代の世界一」と言えま
す。技術的に織も染も冠たるものを持って
いましたね。明治になると機械も開発され、
富岡製糸場が生まれ、日本でも産業が盛
んになりました。近代国家を創る明治政
府の原動力はファッションだったと思います。
終戦直後最初に復興した織維が優れた形
で国の産業の中核を流れているんですね。

麻生 本当にそうですね。
大沼 産業と言えば鉄鋼や自動車が注目
され、織維産業はいつも目立たない業界で

す。それでも経済がどん底に落ちた時は、
織維が経済を立て直して日本の中核になっ
てきました。そこへ、鉄鋼や電機、自動
車産業が合流して経済が発展して來たので
す。高田賢三や山本耀司などの卒業生が、
国際的なデザイナーとして認められ、日本
人がフランスのアトリエのチーフデザイナー
を担当しているケースも多くあります。

ファッションと言うのは、日本人が世界の相
当部分を支えていると言つても過言ではあ
りませんし、そういう評価は国際的に非常
に高いです。

麻生 重要な基礎のところですね。

大沼 最初は短大でスタートして、四年
制の大手、修士課程、博士課程を作り、
ファッション大学院大学も創りました。それ
も世界中の大学を出た人が大学院レベルで
ファッションを学ぶという点では、おそらく
世界で一つしかないのではないかと思いますし、こ
んな学校は日本にはありませんが、なぜか
軽く見られています。この学校の評価と言
えば、残念ですが、建物が立派だという位
のことです。しかし、ファッショの学校の理
事長が日本私立大学協会の会長を20年やつ
ていること 자체が、今までにはあり得なかっ
たんです。

麻生 今、経済財政諮問会議で、レスト
ランやホテルの人材育成をする大学や大学
院を認めてほしいという提案に対し、こ

れがすごい抵抗に合っているんですよ。

大沼 どうですか?

麻生 文科省としてはきっと「レストラン従業員の大学?」っていう感覚です。

大沼 それでは駄目です。

産官学の連携で

才能と社会をつなぐ

麻生 日本私立大学協会会长として、これまでの日本の教育についてお聞かせ下さい。

大沼 大いにバックアップしていただきたいと考えています。経産行政としても教育行政としても、織維産業という多くの人が携わっている大事な産業に、多少陽を当てるファンクションをどうするか、大きな意味で配慮頂きたいと思います。その中で一番大切なのは、博士号を取ろうと何を取ろうと、学校を出ただけでは一人前にはなれませんので、卒業後さまざまな産業界につなげようと思っています。起業家を作るとか、新しい独立したデザイナーを生んでいくとか、これはある程度資本を授下しないできませんが。

麻生 確かにつなぐ所が難しいですね。
大沼 渋谷区文化総合センター大和田と言ふプラネタリウムがある建物の10階と11階に、「文化ファッショニンキューブーション」

という施設を作つて、卒業生が独立する準備のためのセンターとして、相当な赤字を抱えながら支援をしています。ある種の公のレベルでもできるように、それを支えられる産業にならないだけないのかなと思うます。

麻生 うまく人をつなげることを考えないと、いつも思っています。学生が考えたものを実際の会社にしていくとなると、アイデアはいいけど経理や営業が全然わからなくなっています。そこで地元の会社から人を貸したりとかね。うまくつなげることが必要ですよ。

大沼 大学と業界が結びついて产学連携をうまくやって、そこに官も入ってもらえばいいですね。産官学連携をきちんとしないといふ。日本は立ち直ることができないといふ。日本は立直ることができないんじゃないかと思っています。例えばアメリカのニューヨーク州立大学のFIT(Fashion Institute of Technology)／ファッション工科大学)を見ると分かりますが、ニューヨークのセブンスアベニューという所に織維会社、いわゆるアパレルメーカーがあつて、それらが集まつて作っているんです。その資金の3分の1を州が、3分の1を産業界が、そして残りの3分の1が学生の個人負担です。アメリカでは、大体3分の1原則というのが貫かれていて、寄付もあります。ところが

備のためのセンターとして、相当な赤字を抱えながら支援をしています。ある種の公のレベルでもできるように、それを支えられる産業にならないだけないのかなと思うます。

麻生 うまく人をつなげることを考えないと、いつも思っています。学生が考えたものを実際の会社にしていくとなると、アイデアはいいけど経理や営業が全然わからなくなっています。そこで地元の会社から人を貸したりとかね。うまくつなげることが必要ですよ。

大沼 大学と業界が結びついて产学連携をうまくやって、そこに官も入ってもらえばいいですね。産官学連携をきちんとしないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ることができないといふ。日本は立直ことが

が、私が理事になった当時、まず産業界からの寄付金はゼロ、政府からの補助金もゼロでした。そうすると、新宿のど真ん中にこれだけの土地にこれだけの施設を造るのに、どこが出資したのかが、フランスを始めヨーロッパの非常に大きな関心事になるわけですね。そして「どうしてこんなに立派な施設ができるのか」を調査に来るんです。そこで、教職員の力で爪に火を灯して、小さいところから少しづつ100年かかるとおっしゃいます。

麻生 それはそうでしょうね。

大沼 資本金がなくて、ここまで来るなんて手品を見ているみたいだ、と言いますね。ここは完全に民間人としてやっていますからね。日本という国は、全体的に保護者がいないかと思っています。例えばアメリカのニューヨーク州立大学のFIT(Fashion Institute of Technology)／ファッション工科大学)を見ると分かりますが、ニューヨークのセブンスアベニューという所に織維会社、いわゆるアパレルメーカーがあつて、それらが集まつて作っているんです。その資金の3分の1を州が、3分の1を産業界が、そして残りの3分の1が学生の個人負担です。アメリカでは、大体3分の1原則というのが貫かれていて、寄付もあります。ところが

備のためのセンターとして、相当な赤字を抱えながら支援をしています。ある種の公のレベルでもできるように、それを支えられる産業にならないだけないのかなと思うます。

麻生 うまく人をつなげることを考えないと、いつも思っています。学生が考えたものを実際の会社にしていくとなると、アイデアはいいけど経理や営業が全然わからなくなっています。そこで地元の会社から人を貸したりとかね。うまくつなげることが必要ですよ。

大沼 大学と業界が結びついて产学連携をうまくやって、そこに官も入ってもらえばいいですね。産官学連携をきちんとしないといふ。日本は立直することができないといふ。日本は立直することができないといふ。日本は立直することができないといふ。日本は立直ことが

ろは立派で、自力で努力した学校は潰れるかも知れないとか、地方の活性化にも支援がないなどの傾向にあります。私学を使う教育が財務省によって最も安い手段であるわけです。

麻生 それはそうですね。

大沼 僅かな資金でできることを、わざわざ国でやつたら膨大になります。国費の有効な使い方としては、私学に向ければ何でもできると言えるのではないかと思います。もう、私学の地盤は作りました。私学の地盤がなぜ日本でできたかと言うと、それは日本の経済が発展して、インフレが起き、ステップごとに事件があったからです。それがないと日本の私学は成り立ちませんでした。石油ショックがあつて一気に賃金が上がり、土地も上がりましたしね。

麻生 そう、地価がどんどん上がりましたね。

大沼 インフレや、オリンピックなどさまざまなことが段階的に起きて、それに便乗して私学は膨らんできました。でも、これからはもうそんなチャンスはないでしょう。昭和一桁の時代は新生児が180万人生まれましたが、今はもう人口の増加もなく100万人を割つて、学生も少なくなつて、そのしわ寄せが全部私学に来ているのが実情です。

麻生 一つ、法的に言えばやはり憲法の問題です。公の支配に属しない教育事業へ

の支出というは憲法違反となるであります。私学助成は公の支配に属するという解釈が、憲法になつてゐますが、私学に対する支援を憲法でどう位置付けるか、考えておかなければなりませんね。

為政者として考える我が國のあるべき姿について、どのようにお考えですか。

麻生 学生の時、基本的には「二大政黨制によって政権交代が起る」のが、いい民主主義政治だと教わりました。ところが今、イギリス、アメリカ、フランス、これらの国々で

では
か
の
大政
制か
うまく
機能
てい
ません。
二大
政党
制で
ない
国も
含め
先
進
7
カ
国
の
内
5
か
国
で、
この
1
年
半
で
政治
改
革
を
実
現
す
べ
く
思
い
ま
す。

卷之三

大沼 彼らにとて日本の宗教は異教です。日本では神宮やお寺に国はびた一文出て、いませじが、同じ改戻國のゾイは

出してしませんが、同じ賃雇の上へ、税金を取って、教会の復興からドイツの復興が始まったわけです。同じ占領区になりながら、要するにキリスト教だから正しくて、日本の仏教と神道は駄目だということを正当化するために、憲法89条は作られて

いるんです。

麻生　皆憲法9条の話しかしませんが、
89条が大きいんですよ。

麻生 今は解散でですね。そう思います。

一大政党での政権交代

大沼 今は政治が混沌としていますが、

為政者として考える我が國のあるべき姿について、どのようにお考えですか。

麻生 学生の時、基本的には「二大政党制によって政権交代が起る」のが、いよいよ主主義政治だと教わりました。ところが今イギリス、アメリカ、フランス、これらの国々では、かつての二大政党制がうまく機能していません。二大政党制でない国も含め牛進7カ国の内5か国で、この1年半で政治体制が変わっています。

ちなみに、その各国の新聞の予想はあまり当たりませんでした。アメリカもイギリスもそうです。ジャーナリズムの信用が落ちたのは明確です。その中にあって、日本だけは間違いなく政権が安定しています。政権が安定しているから政策に継続性を持たせられるし、経済もうまくいくわけです。

大沼 おっしゃるとおりです。

麻生 今まで二大政党制をよしとして細川連立、そして民主党政権と政権交代をやりましたが、全くうまく行きませんでいた。それなら、自民党という大きな保守方が、政権はより安定するわけです。政権が安定するということは、国家が安定するということです。そのためには現在ある二大政党集団、つまり派閥を基本的には二大

進7カ国の内5か国で、この1年半で政治的リーダーが変わっていきます。ちなみに、その各国の新聞の予想はあまり当たりませんでした。アメリカもイギリスもそうです。ジャーナリストの信用が萎ちたのは明確です。その中には、日本だけは間違なく政権が安定しています。政権が安定しているから政策に継続性を持たせられるし、経済もうまくいくわけです。

卷之三

麻生 今まざと文庫

卷之三

川連立 そして民主党政権と政権交代を

やりましたか 全くうまく行きませぬで

た、それなら、自民党という大きな保守

政党の中で緊張感を持ちながら、一疑似政

「権交代」みたいなものが起きる政治体制の

方が、政権はより安定するわけです。政

権が安定するということは、國家が安定す

るという事です。そのためこま現在ある

政策集団、つまり派閥を基本的には二大



対談後しっかりと握手するお二人